

# 京都府における交通需要マネジメント（TDM）

## 「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト 京都」の実施状況について



平成17年10月21日  
京都府企画環境部交通対策課  
(075-414-5143)

京都府では「京都府TDM施策基本計画」に基づき、自動車に過度に依存しない、環境的に持続可能な交通体系への転換を目指し、多くの関係者に協力いただきながら「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト 京都」を実施しています。

このプロジェクトでは、様々な取り組みを始めているところですが、この度、宇治市中心部に立地する事業所の方々を対象とした取り組み「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト宇治2005」の効果が速報値としてまとまりましたので、お知らせします。

あわせて、本プロジェクトで取り扱っている他の取り組みについてもお知らせします。

### 企業の方々と

#### 『かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト 宇治2005』の実施結果（速報）

都市中心部の事業所に一斉に実施するモビリティ・マネジメントの事例としては国内初

#### ■プロジェクトの概要

宇治市中心部の通勤時間帯の渋滞緩和及び公共交通の利用促進を目的に、商工会議所をはじめ企業、交通事業者、行政等からなる宇治地域通勤交通社会実験推進会議を設置し実施

**実施期間：**平成17年9月1日～インターネットの取組みを開始  
9月12日～16日に情報提供とアンケートを実施

#### 実施内容：

- 宇治地域に立地する商工会議所会員企業の全通勤者約5,000人を対象に公共交通の路線図や乗り換え情報を記載した「宇治地域通勤マップ」、かしこいクルマの使い方を考える冊子を提供し、自動車以外での通勤方法について考えてもらうアンケートを実施
- 5つの事業所（宇治製薬㈱、任天堂㈱宇治工場、ユニチカ㈱宇治事業所、宇治市役所及び山城広域振興局）のマイカー通勤者（約240名）にはインターネットを活用した数回のアンケートを実施
- 「かしこいクルマの使い方を考える講演会」を開催  
（宇治市生涯学習センターにおいて9月2日に開催、参加150名）

プロジェクトの実施結果

## アンケートと情報提供をするだけで

通勤交通を見直してもらったアンケートには、宇治中心部に通勤する  
3,000人が参加

それを通じて、宇治市中心部の通勤時間帯の交通状況が変化

朝の通勤時の宇治市中心部の鉄道利用客数が約3割(29%)増加

J R 宇治駅・京阪宇治駅・近鉄大久保駅の定期券外の降車人数の合計を比較

事業所周辺では朝の通勤自動車の交通量が減少、徒歩が増加

宇治壱番交差点：7:30～8:30 北行乗用車 25%減少(665台 500台)  
南北方向歩行者 36%増加(214人 290人)

インターネットでの取組み(約240名)では、より細かく分析

参加者の自動車利用が9%減少、二酸化炭素排出量が14.4%削減

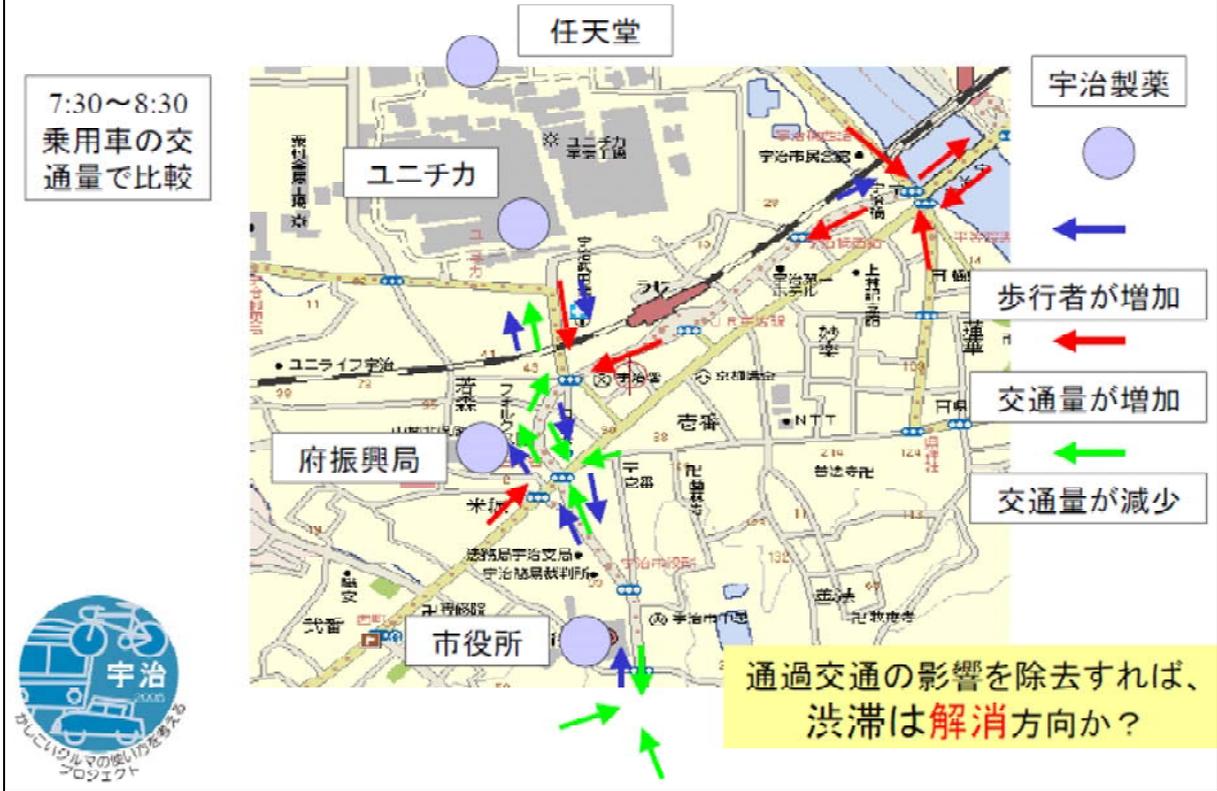
自動車分担率：87.1% 78.4%、CO2 排出量：1,140kg/週 976kg/週(164kg 減)

外出時に自動車を利用しようという意識が低下した人が17%

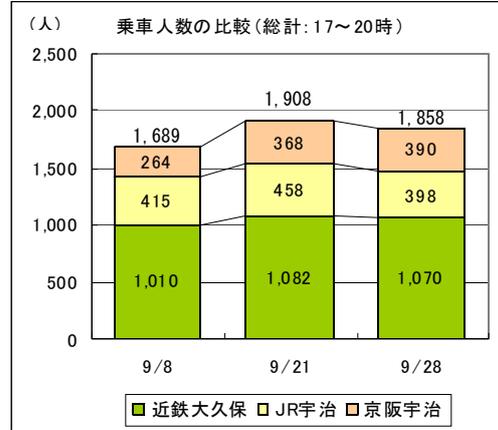
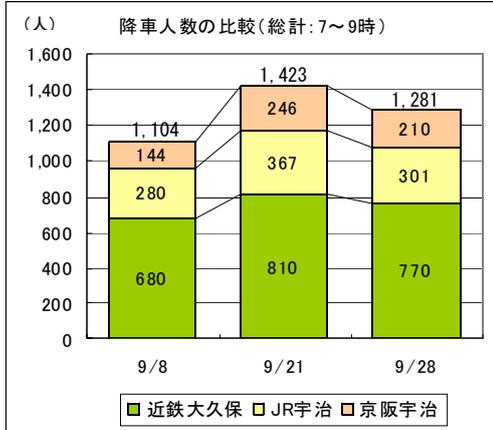
10種類の外出局面で自動車を選択する割合：6.6回 5.5回

今後さらにアンケート内容等を分析し、次年度以降の施策に結びつけていく予定

# 自動車交通量の変化(9/8と9/21の比較)

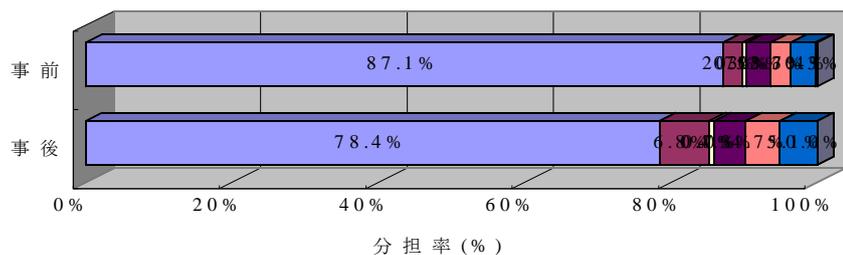


## 鉄道利用客数の変化



## インターネットを活用したアンケートによる個人の代表交通手段分担率の変化

	自動車	鉄道	バス	タクシー	バイク	自転車	徒歩	その他
事前	87.1%	2.7%	0.5%	0.0%	3.3%	2.7%	3.4%	0.3%
事後	78.4%	6.8%	0.7%	0.0%	4.3%	4.7%	5.1%	0.0%



■自動車 ■鉄道 □バス □タクシー ■バイク ■自転車 ■徒歩 □その他

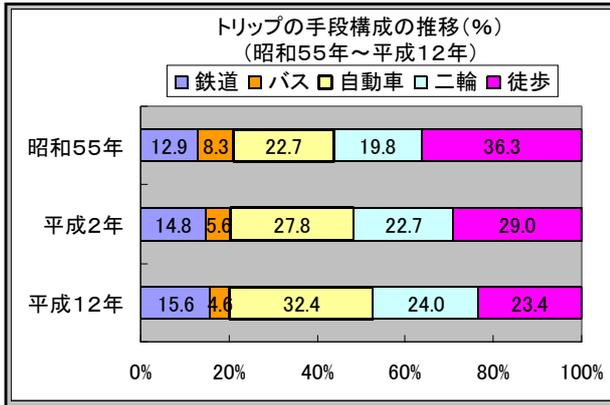
n = 153

# 地域の方々と

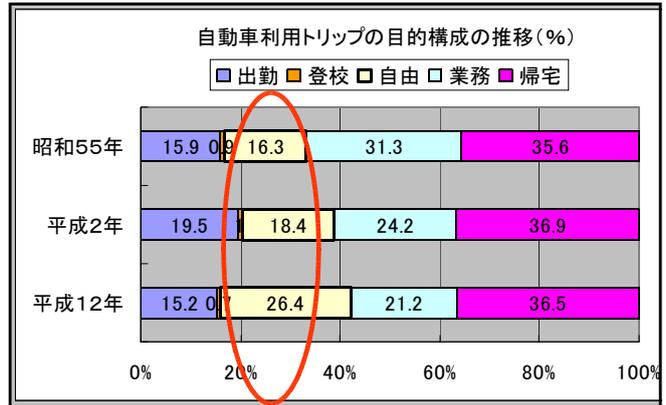
## お出かけマップづくりワークショップの実施

### ■交通の現況

#### 徒歩から自動車へ



#### 自動車利用では自由目的が増加



第4回京阪神都市圏パーソントリップ調査・京都府南部地域のデータ

### ■事業の概要

#### ○ねらい

自由目的（昼間のお出かけや買い物）の自動車利用を抑制するため、自動車以外で出かけるために必要な情報を地図にまとめ、地域の方々に提供

#### ○効果

自動車利用を抑制することで、地球温暖化防止、渋滞の緩和、自身の健康に効果があり、同時に公共交通の利用促進につながる。

#### ○協力団体

京都府南部の女性関係団体等

（長岡京市女性の会、宇治市女性の会連絡協議会、城陽市連合女性会、八幡市婦人会、のってこ会（久御山町）、相楽郡連合婦人会）

○第1回ワークショップ（10月12日（水）午後2時30分～4時40分）

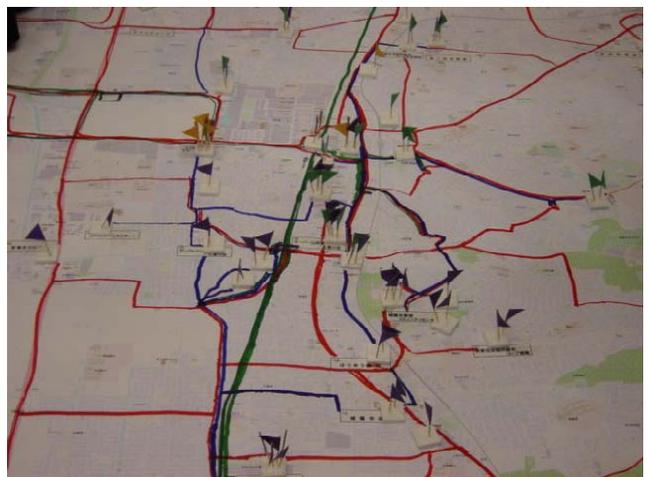
各地域の地図を作成するに当たり、参加者が普段どこへ、どんな交通手段で出かけているかを確認していただくため、**ガリバーマップ（10m×6m）**に交通行動を記入し、**地図づくりを議論**

・指導者：大阪大学 <sup>まつむら</sup>松村助教授

・参加者：京都府南部の女性関係団体等 41名（関係市町村職員、国・府職員含む）



ガリバーマップ（10m×6m）に目的地の旗と交通手段を色分けした線を記入



○次回のワークショップ

各自が収集してきたお出かけ先の情報や行き方を記入し、地域ごとに地図（お出かけマップ）を作成

日時：11月14日（月）午後2時30分～

場所：京都テルサ 第1会議室にて開催予定

※今後この地図を活用して過度な自動車利用を抑制し、公共交通の利用促進を図る予定